みんなで飛騨市の20周年のお祝い事業を考えよう！

市民全体会議を開催しました

平成16年２月１日に２町２村の合併により誕生した飛騨市は、４町の個性を生かしたまちづくりを進める中で、20年の歩みにより市全体の一体感を図ってきました。来年２月に迎える市制20周年は、「新たなまちづくりの出発点（元年）」と位置付けます。

今年度はその準備段階として、市民と一緒に考える機会を創出し、各種記念事業を検討していきます。

準備のキックオフとして、４月７日と12日に古川町と神岡町で「市民全体会議」を開催し、市民ら80名が参加しました。







オンラインで参加しやすいように工夫し、市民や飛騨市ファンクラブ会員らが参加しました。会議では、他地域の事業を参考にしながら、飛騨市で行う事業のアイディアを出し合いました。







参加者からは「飛騨市の未来を担っていく若い人や子どもたちと一緒にお祝いしたい」「市民全員で一体感の出るようなものになれば」などたくさんの意見やアイディアがでました。

ユネスコ無形文化遺産・国重要無形民俗文化財

古川祭が開催されました!



４月19日・20日に春の訪れを告げる古川祭が行われました。

御神輿行列は例年より行列人数を減らし、ルートも縮減されましたが、街中を巡礼しました。19日の夜は起し太鼓。市民や観光客らが見守る中、若松様が披露され、直径80センチの大太鼓を載せた櫓を裸男たちが担ぎ、「ドーン」と響く太鼓の音とともに、提灯行列に導かれながら町内を巡行しました。本格的な起し太鼓は４年ぶりで、大勢の方の熱気に包まれていました。

獅子舞やからくり人形、子供歌舞伎の奉納も行われ、さまざまな動きをするからくりや子どもたちの演舞する姿で多くの観客らを魅了しました。



待ちに待った古川祭



御神輿行列が巡礼



暑い中、街中を巡礼



お囃子も頑張りました



獅子笛を吹く子どもたち



屋台の曳き揃え



古川中・吉城高の生徒が
清掃ボランティアで大活躍

特レポ
＼ 市民ライターがまちの話題をお届け!! ／
広報ひだまち特派員レポート
（特派員：水樹 華・岡田 直樹）

台湾新港郷の方々と交流を深めました



市役所を訪問

４月17日～21日の日程で、飛騨市の友好都市である台湾新港郷の「郷公所」と「新港文教基金会」の35名が飛騨市との友好関係を深めるために来市されました。

起し太鼓や屋台、獅子舞の演舞などを見学された他、飛騨市役所や古川中学校を訪問し授業を見学されるなど、行く先々で出会う多くの人たちと交流を深めました。


古川中学校生徒と交流




古川祭や町並みを見学

飛騨神岡祭～5年ぶりの大行列に歓声



舞姫による豊栄の舞

飛騨三大祭の最後を飾る「飛騨神岡祭」が４月22日に神岡町内一円で開かれ、大勢の方でにぎわいました。

この祭りは大津神社と白山神社、朝浦八幡宮の２社１宮が執り行う例祭の総称です。最大の呼び物である総勢350人の氏子たちが繰り広げる大津神社の行列はコロナ禍等により５年ぶりとあって、多くの市民や観光客らが行列を見守りました。

好天に恵まれたこの日、各社は正午ごろ渡御行列をスタート。大津神社では笛や太鼓による祭り囃子が奏でられる中、絢爛豪華な御神輿を中心に子供神輿や獅子舞、采女、雅楽社中らが時代絵巻さながらの長い列をつくり、氏子たちが引く台輪では華麗な『浦安の舞』も披露されました。行列は西里通りを経て本町通りを巡行し、本町防災公園内では金蔵獅子や鶏闘楽などの芸能が披露されました。


白山神社の金蔵獅子


大津神社の還御行列


大津神社獅子組


白丁による神輿担ぎ

まちの話題いろいろ

飛騨市役所

ホームページとSNSで掲載以外のまちの話題も配信中！



4/1 ボランティアの皆さんの協力で瀬戸川に鯉が帰ってきました

春の風物詩、瀬戸川の鯉の引っ越しが行われました。この日は、地元の中高生や「ヒダスケ！」で募った市内外からのボランティアや市観光協会の職員らが作業に汗を流しました。



4/2 飛騨市消防団入退団式が開かれました

令和５年度飛騨市消防団入退団式が、神岡町公民館で開かれました。今年度は41人が退団し、27人が入団。式典では、表彰伝達や退団者への感謝状授与、委嘱状や辞令の交付などが行われました。



4/6 北村象次郎さんが百歳を迎えられました

特レポ

古川町の北村象次郎さん（大正12年４月１日生まれ）が100歳を迎えられ、市から花束等のお祝いを贈呈しました。当日は、写真でいっぱいの色紙やお花を嬉しそうに眺めていました。



4/8 第９回飛騨神岡夜桜夜市が開催されました

４年ぶりに飛騨神岡夜桜夜市が山田川河畔で開催されました。桜のライトアップのほか、桜にちなんだ飲食や木工商品などのバザー、琴の生演奏やお茶会などが行われ、多くの人で賑わいました。



4/9 古川やんちゃガイド養成講座に市民など22人が参加しました

飛騨古川まつり会館で、古川祭を語り案内してくださる市民ガイドを育成しようと、「古川やんちゃガイド養成講座」が初めて開催され、市民など22名が郷土史家の茂住修史さんや都竹市長から学びました。



4/15 市美術館リニューアルを記念し、栃本三津子さんの演奏会

飛騨市美術館がリニューアルオープンしたことを受け、これを記念するバイオリンミニコンサートが開かれ、東京フィルハーモニー交響楽団のバイオリン奏者、栃本三津子さんが演奏を披露しました。

特レポ
＼ 市民ライターがまちの話題をお届け!! ／
広報ひだまち特派員レポート
（特派員：水樹 華・岡田 直樹）



4/17 飛騨市集落支援員の皆さんへ委嘱状を交付しました

東佐藤司さん、屋比久晃平さん、古田峻さんが「飛騨市集落支援員」に委嘱されました。それぞれ、宮川町、古川町畦畑、河合町で集落支援や生活の困りごとの支援に関する活動を行います。



4/22 種蔵で「空積ワークショップ」が行われました

種蔵地区の景観を守り残そうと「種蔵棚田×空積ワークショップ」が行われ、県内外から19名が参加しました。座学で空積みの技術や工法を学び、現地での石積作業で心地よい汗を流しました。

「広報ひだ4月号」表紙用にご応募いただいた写真を紹介します

たくさんのご応募ありがとうございました。



『祭りの前の静けさ』
まつり広場
（古川町　飛騨のまねきねこさん）



『暑かったあの日』
神岡城
（高山市　尾崎 昌彦さん）



『提灯の奥の華やかな屋台』
古川町壱之町地内
（古川町　映える写真が撮りたいさん）



『春へ一番のり福寿草』
古川町野口地内
（古川町　岩佐 英夫さん）



『満開の桜と水仙』
古川町杉崎地内
（宮川町　荒谷 誠さん）



『あたたかな日常。』
古川町壱之町地内
（古川町　ひだまるさん）